

文意を正しくとらえる

(文法②)

名前

やってみよう

一 次の文章は単語の分類について説明したものです。【 】の中に当てはまる言葉を語群から選んで記号で書きなさい。

文を組み立てる材料としての一つ一つの言葉で、いちばん小さな言葉の単位を単語といいます。単語は、それだけで文節を作れる【 ① 】とそれだけでは文節を作れない【 ② 】に分かれます。

単語は活用やどのような文の成分になるのかなどで十種類の【 ③ 】に分類することができます。

物事の名前を表す名詞は【 ④ 】ともよばれます。【 ⑤ 】は動作や存在を表します。状態や性質を表す品詞には【 ⑥ 】と形容動詞があります。言い切りの形で区別することができます。動詞、形容詞、形容動詞をまとめて用言といいます。他に、自立語には、体言を修飾する語として用いられる連体詞、主に用言を修飾する語として用いられる【 ⑦ 】、文と文や語句と語句などをつなぐ働きをする【 ⑧ 】、呼びかけや感動などを表す感動詞があります。付属語には助詞と【 ⑨ 】があります。この二つは、活用するか、しないかで区別することができます。

ア 動詞 イ 体言 ウ 付属語 エ 自立語 オ 品詞
カ 助動詞 キ 形容詞 ク 副詞 ケ 接続詞

⑧	①						
		⑨	②				
				⑩	③		
						④	
							⑤
							⑥
							⑦

二 次の1と2の文を例にならって単語に区切り、その単語の品詞名を右側に書きなさい。

(例) 今年 / の / 冬 / は / と / ても / 寒い。
 名詞 助詞 名詞 助詞 副詞 形容詞

1 父の趣味は山に登ることです。

2 あの公園にみごとな羽の鳥がいる。